Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

1. 適用範囲

本書は、DF63W シリーズの挿入・抜去を行う際の手順について規定するものです。

本書には、本製品を安全に使用するための一般的な指針や注意事項が述べられています。本書に書かれたことと違った方法で本製品を使用された場合、コネクタ破損等の予期せぬトラブルに繋がる恐れがあるため、製品をご使用頂く前に必ず熟読し、十分にご理解頂くようお願いします。

2. コネクタ品名 △1

■圧着ソケット品名

DF63W #－＊ EP－3.96 C
❶ ❷ ❸❹ ❺❻

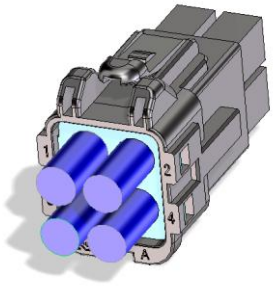
❶ シリーズ名：DF63W
❷ ワイヤーシール形状 ＃＝ 無または A
❸ 極数：2～6
❹ コネクタ種別 S ：ソケット EP：中継プラグ
❺ 端子ピッチ：3.96mm
❻ 結線部形態 C ：圧着ソケット

■圧着端子品名

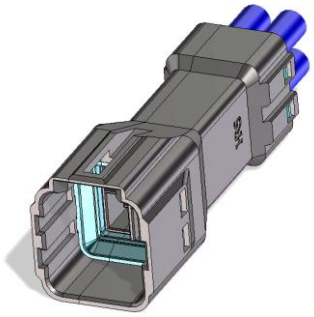
DF63(W) – 1618 PCF
❶ ❷ ❸

❶ シリーズ名：DF63(W)
❷ 適合電線サイズ 1618：AWG16～18 2022：AWG20～22
❸ 形態種別/梱包種別 SCF：ソケット圧着端子・リール SC ：ソケット圧着端子・ばら PCF：プラグ圧着端子・リール PC ：プラグ圧着端子・ばら

※適合圧着端子
ソケット端子・・・DF63W-****SC(F)
(****=1618、2022)
プラグ端子・・・DF63-****PC(F)
(****=1618、2022)



（例）DF63W-4S-3.96C
+DF63W-1618SCF（電線付）



（例）DF63W-4EP-3.96C
+DF63-1618PCF（電線付）

図 1. DF63W コネクタ

	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△	2	DIS-H-00014188	HT. SATO	SZ. ONO	20220621

名 称 TITLE

DF63W シリーズ 挿抜手順書

HIROSE ELECTRIC CO., LTD.

APPROVED	HS. OKAWA	20180115
CHECKED	TS. FUKUSHIMA	20180115
DESIGNED	TO. KUROMATSU	20180115
WRITTEN	TO. KUROMATSU	20180115

技 術 指 定 書 TECHNICAL SPECIFICATION | ATAD-H0926-00 △ | 1 / 5

FORM HC0011-9-1

3. 作業手順

3-1. 挿入

3-1-a. 挿入位置合わせ

：ソケットと中継プラグのロック位置を目安に位置合わせをして下さい。

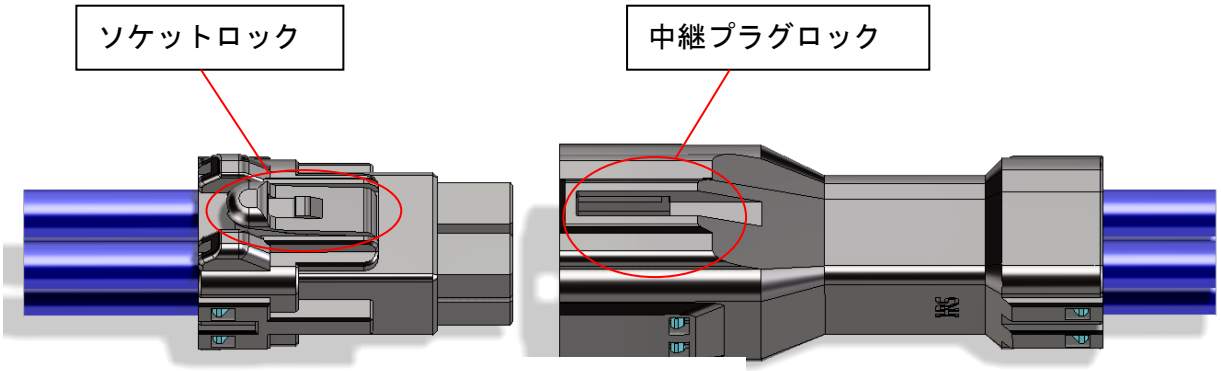


図 2.　挿入位置合わせ方法

3-1-b. 挿入

：合わせた位置を保ちながら、「カチッ」と音が鳴るまで挿入して下さい。

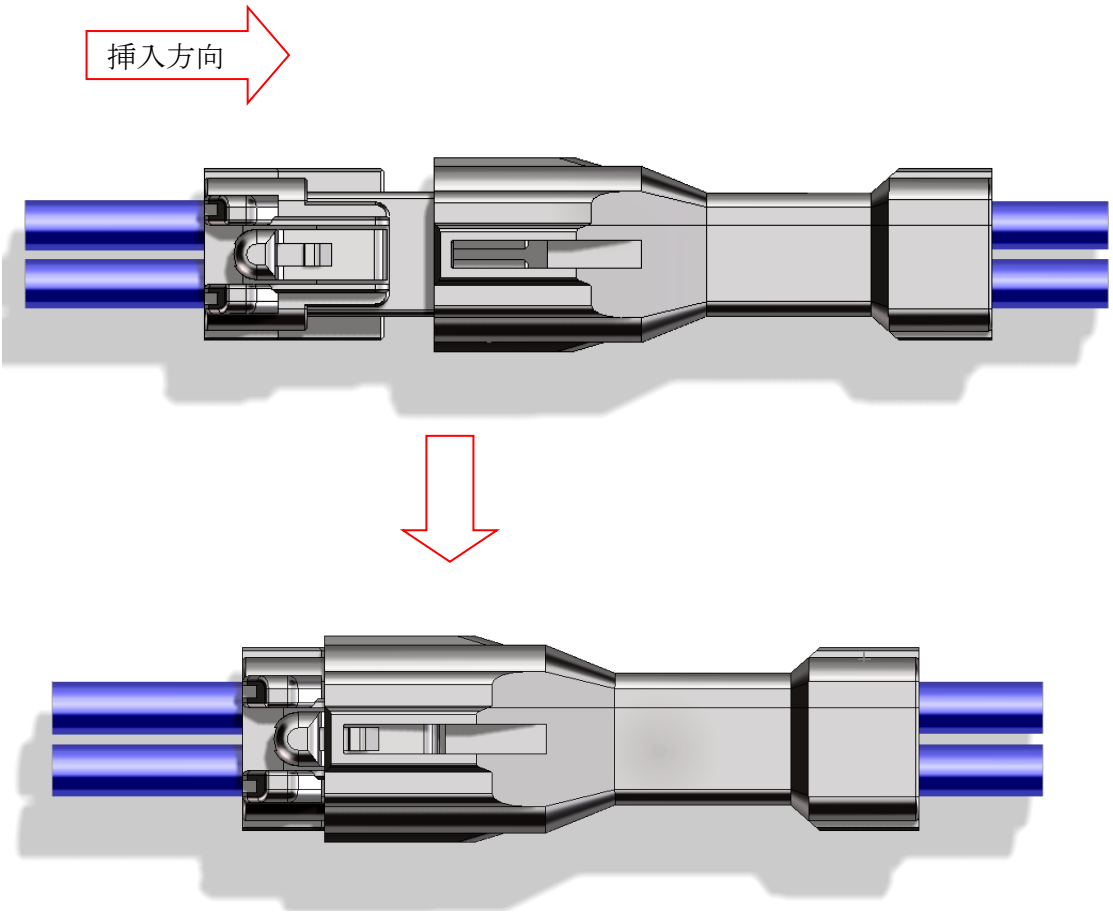


図 3. 挿入方法

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

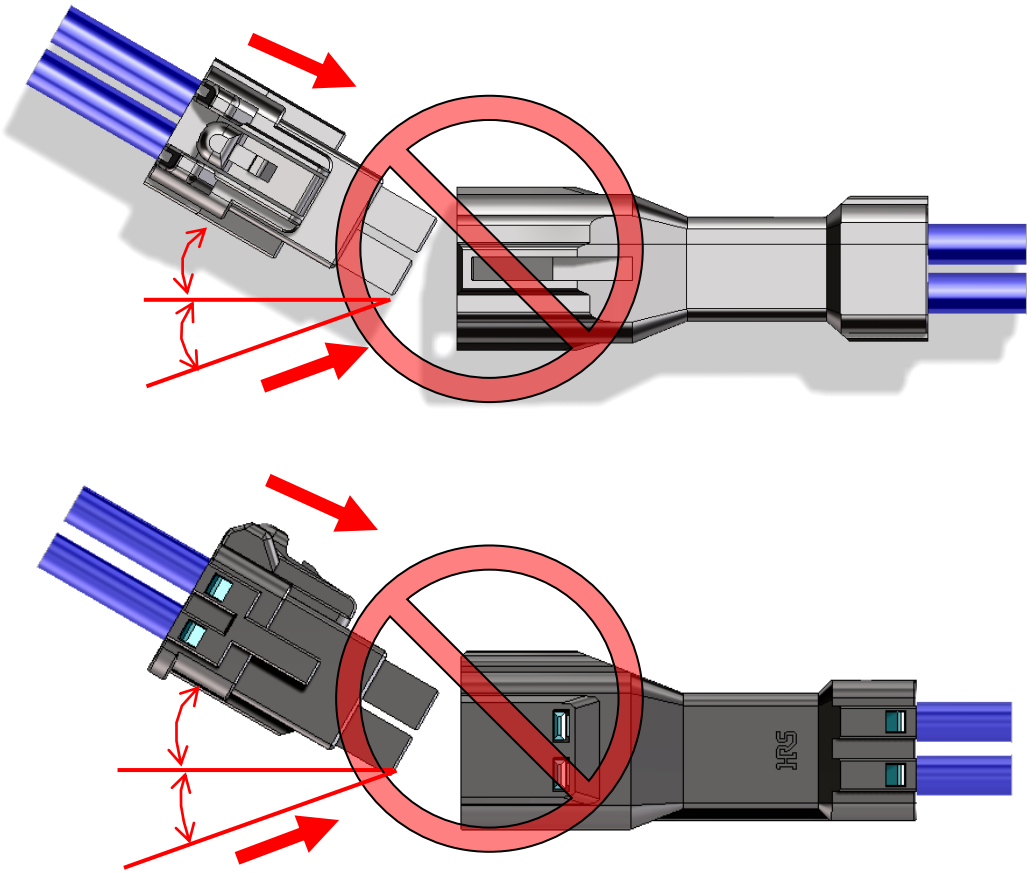


図 4. 禁止挿入方法

品質に悪影響を与える恐れがありますので、禁止マーク図の様に、斜め挿入することはしないで下さい。

3-1-c. 嵌合確認

：ソケットと中継プラグが確実に嵌合されていることを確認して下さい。
（ソケットのロックが中継プラグのロックに引っ掛かっていることを目視またはケーブルを掴んで軽く引っ張って確認して下さい。）
嵌合の外し方は 3-2. 嵌合抜去をご確認下さい。

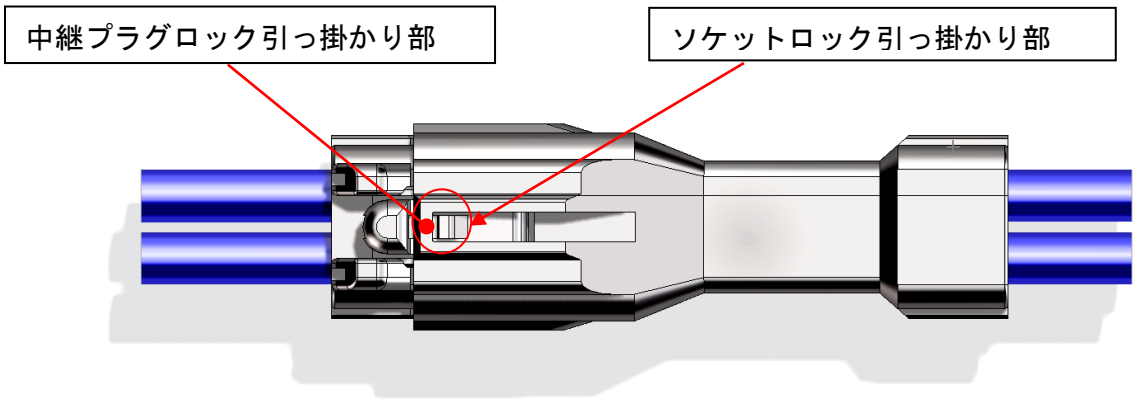


図 5. 嵌合確認

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2. 嵌合抜去

3-2-a. 抜去

：ソケットのロックバネ押し部を指で押しながら、ロックが解除している状態で、抜去して下さい。

注）ロックが引っ掛かったまま抜去すると、ロック引っ掛かり部の破損あるいはケーブルの断線・抜け等が発生する恐れがありますので、ロックが引っ掛かったまま抜去しないようにして下さい。

※コネクタを真直ぐ引っ張った際のロック破壊強度は約 50N（規格値）となりますので、過大な負荷が加わらないように考慮下さい。

※ケーブルを引っ張った際の保持力は約 27N/pin（規格値）となりますので、特定のケーブルに過大な負荷が加わらないように考慮下さい。

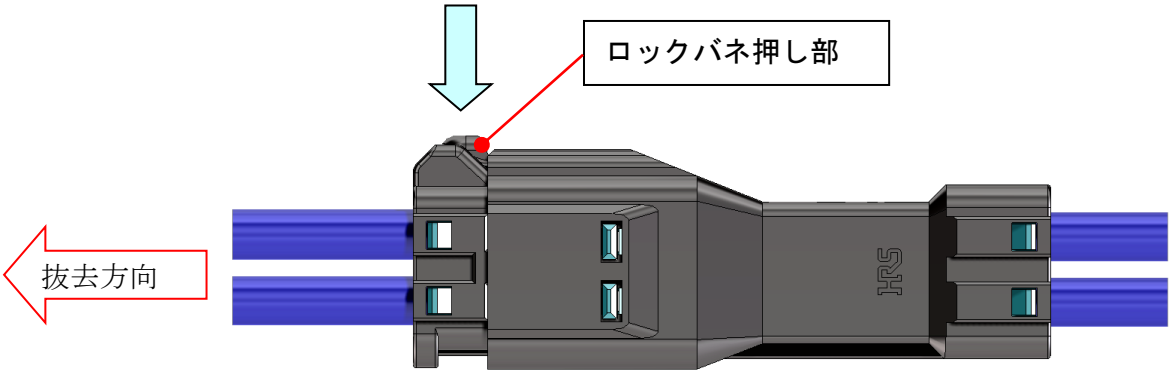


図 6. 嵌合抜去方法

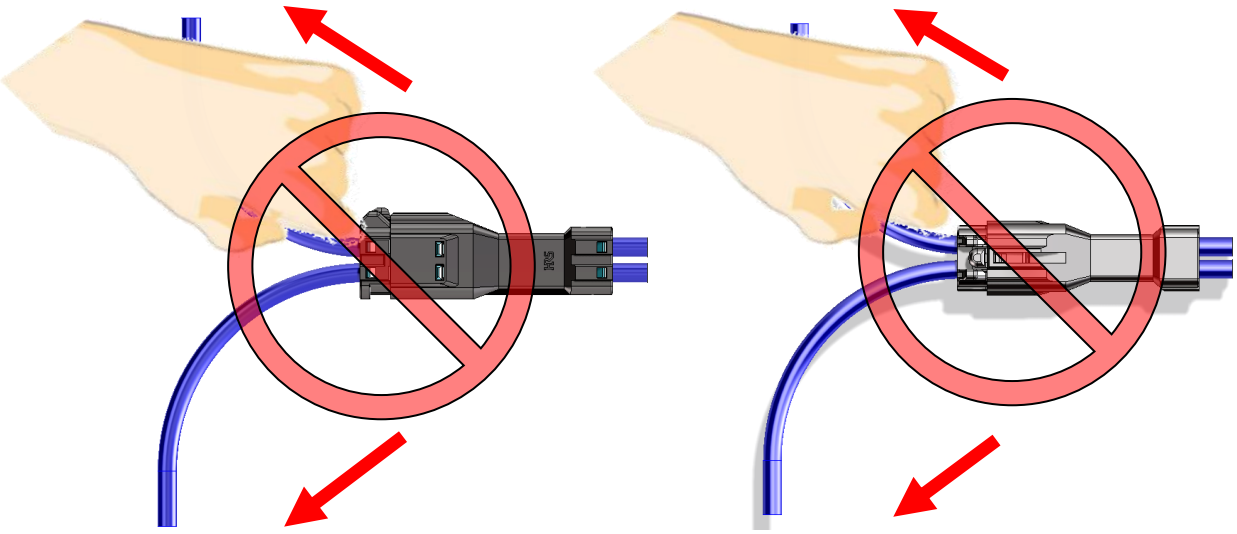


図 7. 禁止抜去方法

品質に悪影響を与える恐れがありますので、禁止マーク図の様に、斜め抜去することはしないで下さい。

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

4. 注意事項 ⚠1

・電気を流したまま挿抜は行わないで下さい。
・コネクタに過大な外力が加わりますと、障害や破損を引き起こす場合がありますので、
無理な挿抜、落下衝撃、無理なケーブルの引っ張りや引き回し、ねじり等がないように
ご配慮下さい。
・ケーブルを機器内で配線する際は、ケーブルが突っ張った状態や無理な張力が
掛かった状態にならないように余裕を持たせた引き回しをお願いします。
・ケーブル屈曲時は下図のようにコネクタ端面から直線部を設けて屈曲してください。
コネクタ端面から急激に屈曲した状態、またはケーブル根元が突っ張った状態は
端子接点部や端子圧着部に負荷が掛かり接点不良、防水不良の原因となる為
おやめください。

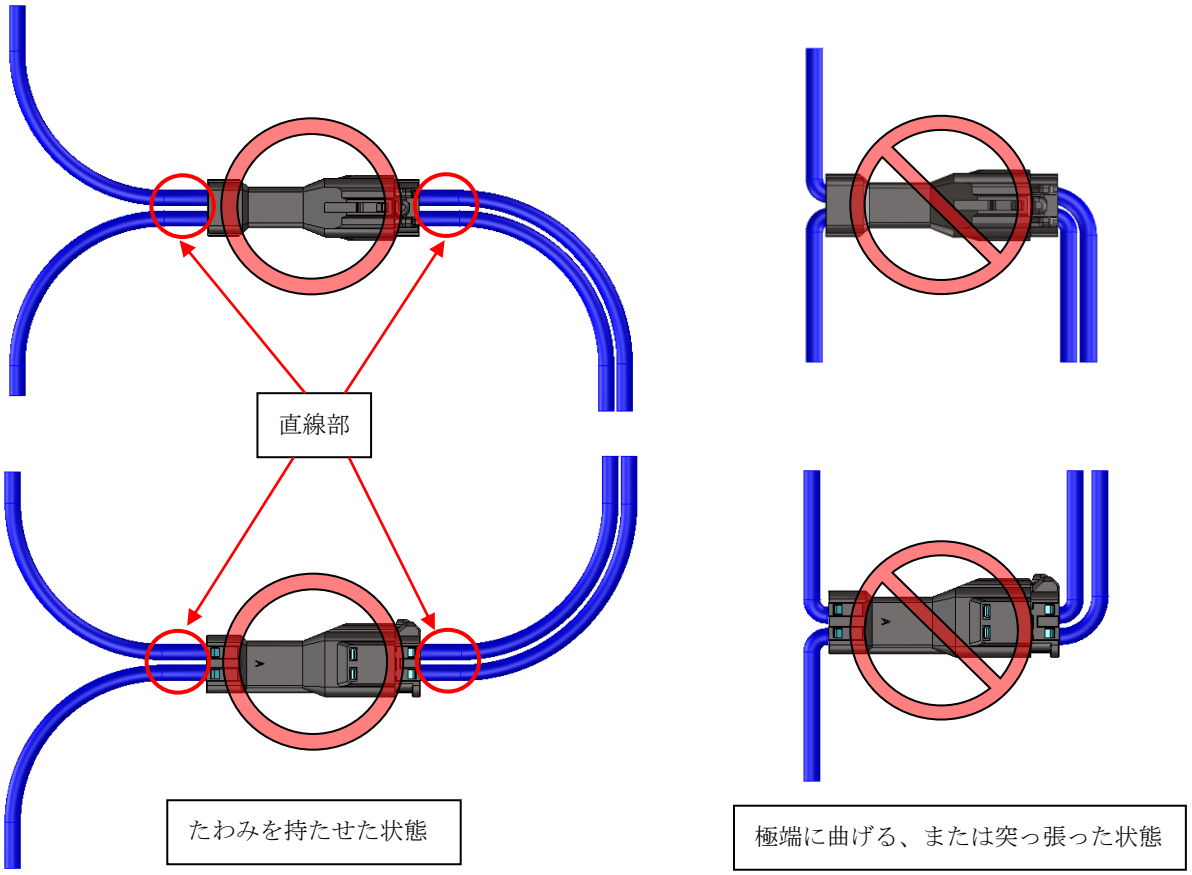


図 8. ケーブルの屈曲

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.